



■ ツ 瀬 川
ア ラ カ ル ト

ひとつせがわあらかると

一ツ瀬川の姿

ひとつせがわのすがた



① 一ツ瀬川の特徴 ひとつせがわのとくちょう

(1) 一ツ瀬川流域 ひとつせがわりゅういき

一ツ瀬川は、「九州の屋根」と呼ばれるほど高く険しい日向山地から始まります。山間部では、板谷川、尾八重川、小川川、銀鏡川など、平野部では三納川、三財川などが合流し、最後は日向灘に流れ込みます。



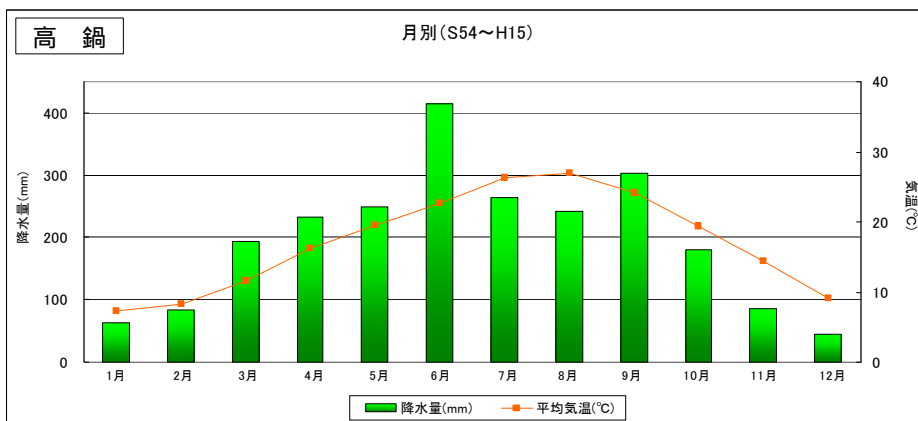
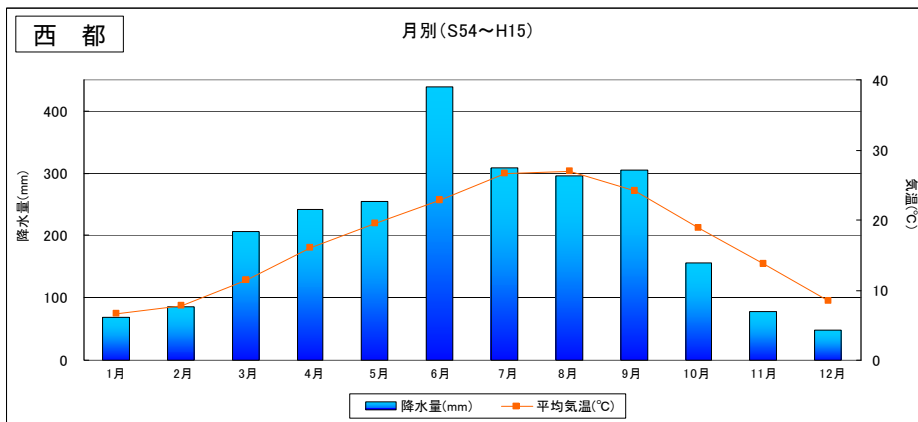
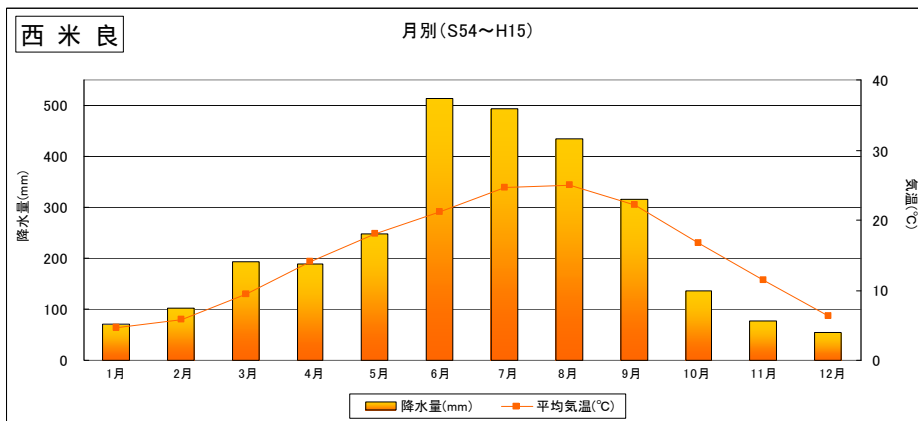
(2) 流域の地形 -約800万年前からの変遷-

ひとつせがわ かりゅう ひろ みやざきへいや べつめいひゅうがかいがんへいや よ
一ツ瀬川の下流に広がる宮崎平野は、別名日向海岸平野と呼ばれます。
ひとつせがわ なが で きゅうしゅうさんち まんねんまえ まんねんまえ あいだ
一ツ瀬川が流れ出ている九州山地は、およそ800万年前から150万年前の間、
うみ めん ひとつせがわ なが うみ なみ やま けず かいいてい すな
海に面していました。このとき、一ツ瀬川の流れや海の波が山を削り、海底に砂
や泥を堆積しました。その後、気候の変化や地震による地盤変動などによって、
どろ たいせき こ きこう へんか じしん じばんへんどう
この海底の砂や泥が隆起して陸地となり、現在の宮崎平野を作っています。

みやざきへいや いちぶ さいとばるいったい さいとしふきん かいいてい りゅうき
この宮崎平野の一部である西都原一帯（西都市付近）は、海底の隆起によっ
けいせい こうせきだいち ひとつせがわ しんしょく げんざい かたち つく
て形成された洪積台地を一ツ瀬川が浸食して、現在の形が作られました。
さいとばるいったい かいばつ ちてん かいばつ ちてん ひろ だんきゅうめん
西都原一帯は、海拔20～40m地点と、海拔60～70m地点とに広がる段丘面がある
ことから、過去に少なくとも数回は隆起したことがわかります。

(3) 流域の気候

ひとつせがわ みやざきけん なんかいがたきこうく よ おんだん あめ おお ふゆ
 一ツ瀬川がある宮崎県は、南海型気候区と呼ばれる、温暖で雨が多く、冬に
 は よく晴れる気候に属しています。しかし、ちけい い く ちふくざつ
 地域によって差が見られます。ひとつせがわりゅういき おお とくちょう とら
 一ツ瀬川流域では、大きく3つの特徴を捉えることができます。



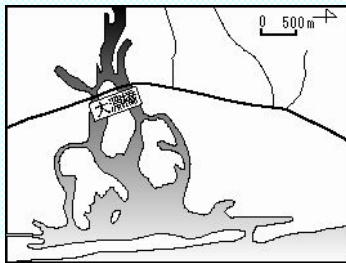
ひよつ めら さんかんぶ きいと へいやぶ たかなべ がこつぶ つきべつへいきんこつずいりよつ つきべつへいきんきあん
 表：米良(山間部)・西都(平野部)・高鍋(河口部)の、月別平均降水量と月別平均気温

② 一ツ瀬川の変遷 ひとつせがわのへんせん

(1) 河口部の変遷

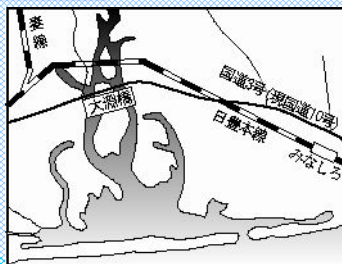
ひとつせがわ かこうぶぶん むかし いち かたち おお か
 一ツ瀬川の河口部分は、昔から位置や形を大きく変えてきました。明治時代
 いこう
 以降の記録を見ると、その移り変わりは、大きく分けて4段階にまとめることが
 できます。

めいじ ねん ねん
 明治35年（1902年）



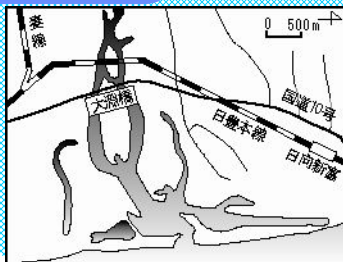
げんざい しんとみちようおうじちく ほくぶ うみ なが こ
 現在の新富町王子地区の北部で海に流れ込んで
 いました。河川は蛇行し、中洲があり、河川の区域は
 ほとんど固定されていませんでした。当時から
 おおぶちばし か
 大洲橋は架けられていましたが、その他は渡し舟な
 どが活躍していました。

しょうわ ねん ねん
 昭和10年（1935年）



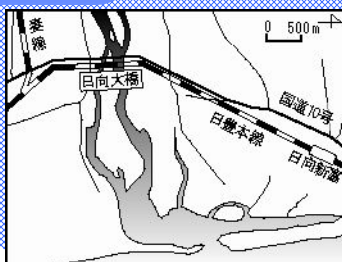
ひとつせがわ なが めいじ ねん か
 一ツ瀬川の流れは明治35年とあまり変わっ
 ていませんが、堤防が築かれ、鉄道が走って
 います。このとき、富田入江が北に伸び、中洲が
 いちぶりくつづ
 一部陸続きとなっています。

しょうわ ねん ねん
 昭和28年（1953年）



げんざい さどわらちようふくしまちく につたてちく
 現在の佐土原町福島地区から二ツ建地区にかけて
 ていぼう かんせい しっち かんたく すず すいでんちたい
 堤防が完成し、湿地の干拓が進んで水田地帯とな
 りました。また一ツ瀬川が海へ流れ込む場所が南に
 移動しています。

しょうわ ねん ねん
 昭和43年（1968年）

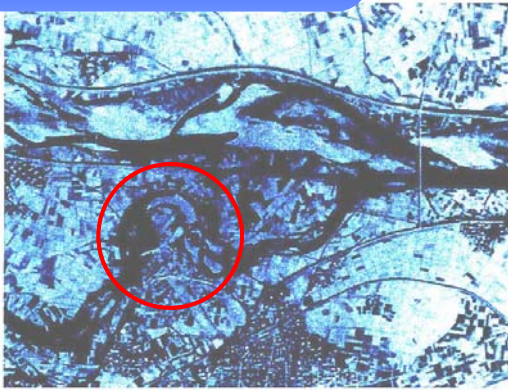


ひとつせがわえんがん ていぼう かんせい かせん はば
 一ツ瀬川沿岸の堤防がほぼ完成し、河川の幅
 が固定されました。このとき、ほぼ現在の形が
 できあがりました。また、富田干拓地が形成さ
 れ、水田地帯となりました。

(2) 川の流れの変遷

河口部以外でも、一ツ瀬川の流が**変わっている場所を確認できる**ところがあります。代表的な例である三財川と一ツ瀬川が**合流する**ところや、杉安橋付近でその変化を見てみましょう。

三財川合流点 昭和22年（1947年）



一ツ瀬川の堤防は整備されていて、その堤防の中を蛇行しています。しかし三財川では蛇行が著しく、自然の川の流の形を残しています。（赤い丸で囲まれた部分）

三財川合流点 昭和50年（1975年）



三財川が新しくまっすぐな川の流（捷水路と呼びます）に整備されています（赤い丸で囲まれた部分）。もとの流は、三日月の形に残されています（青い丸で囲まれた部分）。

三財川合流点 昭和61年（1986年）



ほぼ現在の形が形成されました。川の流は昭和50年と大きく変わっていません。

すぎやすばしかりゅうふきん しょうわ ねん ねん
杉安橋下流付近 昭和22年（1947年）



なかしま すぎやすせき けんせつ なかす
仲島に杉安堰が建設されています。中州
のうち として りよう されていました。すぎやすせき
より 右岸側 に 農業用水路 が 整備 され、 農地
が 広がっています。住宅 は まだ 少なく、ま
ばら です。

すぎやすばしかりゅうふきん しょうわ ねん ねん
杉安橋下流付近 昭和61年（1986年）



なかしま なかす こうえん せいび
仲島の 中州 は 公園 として 整備 されていま
す。平地部 は 農地 の 整備 (ほ場整備) が 進み、
農地 が 広がっています。宅地 も 一ツ瀬川 沿
いや 左岸 の 山際 に 広がって きて います。

すぎやすばしかりゅうふきん へいせい ねん ねん
杉安橋下流付近 平成7年（1995年）



なかしまこうえんかりゅう さす ひろ けいせい
仲島公園下流は、砂洲が広く形成され、
一ツ瀬川を流れる水の量も以前に比べて
少なくなっています。

(3) 富田入江と二ッ建入江

富田入江は、昔、白い砂と岸辺の松によって美しい風景が広がっていました。また、水深が現在よりもはるかに深く、流れもあったため、多くの魚が生息していました。付近の人々は様々な漁法を用いて魚をとっていました。

しかし、昭和27年頃に一ツ瀬川河口をテトラポットで固定したことにより、富田入江の流れが少なくなり、砂がたまって水深が浅くなりました。現在では、土砂の浚渫を行い漕艇競技場とし、浚渫土砂を最奥部に埋め立てて、富田浜公園が整備されています。

二ッ建入江は、干潮時には広大な干潟になることから、ボラやクルマエビ、モズクなどの豊富な魚介類が取れました。

しかし、昭和25年の堤防の完成により、二ッ建入江の入口が閉じられ、塩田や農地、ウナギの養殖場に姿を変えてしまいました。現在では、その中州に架かっていた橋(大洲橋、福島橋)の橋脚と、金毘羅宮が、当時の二ッ建入江の名残をとどめています。

③ 一ツ瀬川の自然 ひとつせがわのしぜん

(1) 一ツ瀬川にすむ魚介類 ひとつせがわ ぎょかいりい

一ツ瀬川には、たくさんの魚介類がすんでいます。これらは、自分達が住むのに適した水の温度や周囲の環境があるので、平野部と山間部ですんでいる魚介類は異なります。
 皆さんは身近な場所に住んでいる魚の種類をどのくらい知っていますか？

平野部で主に見られる魚介類 へいやぶ おも み ぎょかいりい



メダカ



アカメ



トビハゼ



オイカワ(赤ベエ、白八エ)



ヒラメ



ヨシノボリ類



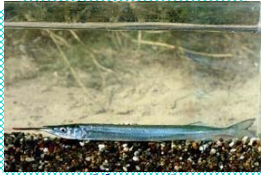
ウナギ



テナガエビ



キチヌ



サヨリ



コノシロ



ギンガメアジ



コイ



モクスガニ(ツガニ)



ナマス



ギンブナ



マハゼ



クロベンケイガニ



スズキ

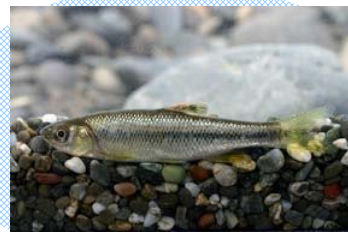


ボラ

その他・・・
コトヒキ、マシジミ、チチブ、
マゴチ、シマイサキ、
アサリ、イシマキガイ、
カワニナ、ヤマトシジミ、
モノアラガニ、ミゾレヌマエビ
など



ボウスハゼ



カワムツ



タカハヤ



カマキリ



サワガニ



アユ



ウガイ



モクスガニ



カマツカ

その他・・・
トウヨシノボリ、オイカワ

など

ひとつせがわりゅういき りくじょうせいぶつ
 (2) 一ツ瀬川流域にすむ陸上生物

ひとつせがわ りゅういき おお りくじょうせいぶつ せいかつ ふか もり ひろ
 一ツ瀬川の流域には、多くの陸上生物も生活しています。深い森が広がる
 じょうりゅう さんかんぶ かこうぶ い え ひがた しゅるい どうぶつ
 上流の山間部から、河口部の入り江や干潟まで、たくさんの種類の動物が、
 それぞれすみやすい場所すで静ばしよかに暮しずらしています。

みな 皆さんは、どれくらい野生やせいの動物どうぶつに出会であったことがありますか？

じょうりゅういき おも み りくじょうどうぶつ
 上流域で主に見られる陸上動物



カスミサンショウウオ

しんしゅはっけん
 新種発見！ メラシカ

めいじ ねんごころ にしめらそん
 明治8年頃、西米良村
 ふかせ りょうし か と
 深瀬の猟師が狩りで獲っ
 たシカが、昭和23年、宮崎
 しょうわ ねん みやざき
 大学の教授により新種
 だいがく きょうじゅ しんしゅ
 であると判断はんだんされまし
 た。メラシカと名づけら
 れましたが、現在げんざいでは
 ぜつめつ い
 絶滅したと言われます。



メラシカの角

しゅうへん おも み りくじょうどうぶつ
 ダム周辺で主に見られる陸上動物



ヤマセミ



ヤマカガシ



カジカガエル

その他・・・イタチ、タヌキ、アナグマ、テン、ニホンカモシカ、ヤマネ、ムササビ、カワネズミ、ゴイサギ、カワセ
 ミ、カワガラス、ベッコウサンショウウオ(オコゼ)、アオダイショウ、カラスヘビ、シマヘビ など

かりゅういき おも み りくじょうどうぶつ
 下流域で主に見られる陸上動物



ヒドリガモ



ミサゴ



コアジサシ

その他・・・ハジロ、カルガモ、ツクシガモ、マガモ、コサギ、アオサギ、ササゴイ、アマサギ、クロツラヘラサギ、
 ウミウ、セイタカシギ、イソシギ、ガンサシ、チドリ、カイツブリ、カモメ、ゴイサギ など

ひとつせがわりゅういき
(3) 一ツ瀬川流域の植物

ひとつせがわりゅういき もっと み しょくぶつ はやし
 一ツ瀬川流域で最もよく見られる植物は、シイヤカシの林や、スギやヒ
 ノキの植林です。九州中央山地国定公園に指定されている上流部では、自然
 のままの森林が多く残り、豊かな環境を見ることができます。



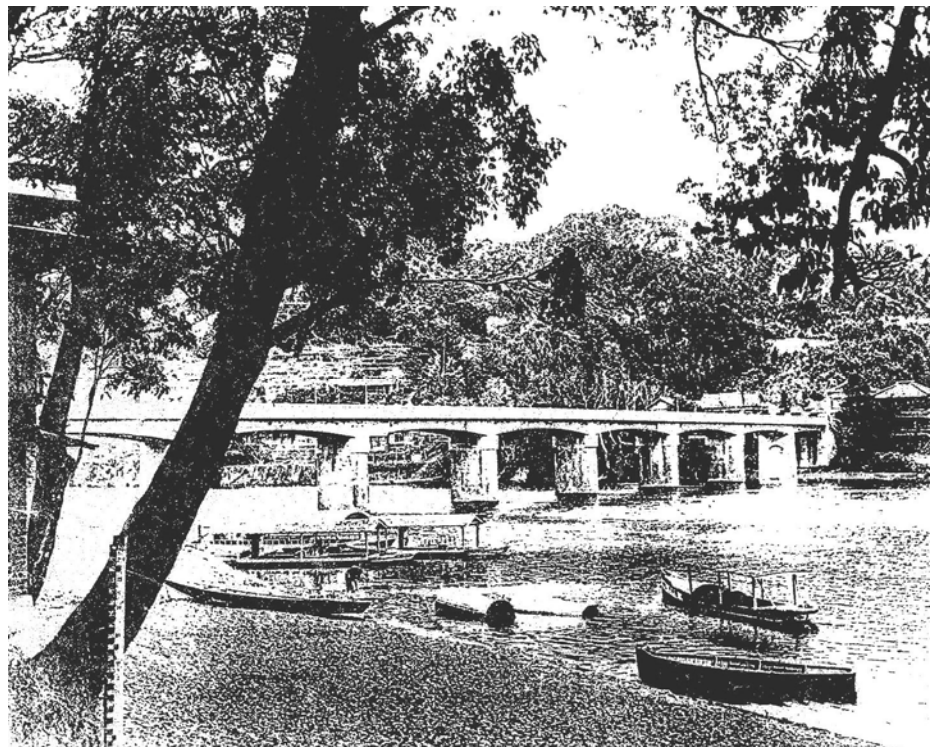
④ 一ツ瀬川の景観 ひとつせがわのけいかん

(1) 杉安 -日向の嵐山-

現在の西都市杉安には、一ツ瀬川の兩岸に山が迫ってきた美しい風景の杉安峡があります。かつてはこのすばらしい景色を求めて多くの観光客が訪れ、いつもにぎやかで優雅な雰囲気を持っていました。そのため、京都でも景色の美しい場所として有名な嵐山にたとえられ、「日向の嵐山」と呼ばれていました。

現在では観光客が訪れることは少なくなりましたが、今でも美しさは健在です。

杉安橋と屋形船



(2) 山村の景観 - 藁葺き屋根の集落 -

西米良村小川、^{にしめらそん おがわ} 罫^{かこい} の地区の明治時代末期の風景です。^{ちく} 集落^{しゅうらく}のほとんどが藁葺^{わらぶ}き屋根^{やね}でできており、のどかな山村風景^{さんそんふうけい}が作られていました。

(3) ダム湖に沈んだ村々

一ツ瀬ダム^{ひとつせ}を建設^{けんせつ}するときに、西米良村^{にしめらそん}の4地区^{ちく}(^{こしのお} 越野尾^{よこの}、^{おがわ} 横野^{むらむら}、^{むらむら} 小川^{おがわ}、^{むらむら} 村所^{むらしょ})、旧東米良村^{きゅうひがしめらそん}(現在の西都市^{げんざい})の3地区^{ちく}(^{なかお} 中尾^{なかお}、^{はえ} 八重^{はえ}、^{しろみ} 銀鏡^{しろみ})は、ダム湖^この底^{そこ}に水没^{すいぼつ}することが決定^{けつてい}しました。これらの地区^{ちく}に住んでいた人々^{ひとびと}は、学校^{がっこう}などの周辺^{しゅうへん}の施設^{しせつ}を含めて、大規模^{だいきぼ}な移転^{いてん}を行いました^{おこな}が、写真^{しゃしん}などで在りし日^あの風景^{ふうけい}を見ることが出来ます。



写真：昭和33年頃の越野尾地区



この写真の高台^{たかだい}の上^{うえ}にある昔^{むかし}の学校^{がっこう}の校庭^{こうてい}は、一ツ瀬ダム^{ひとつせ}の水^{みづ}位^いが下^さがったとき^{とき}に見^みることが出来る^{出来る}んだって!



写真：道路^{どうろ}に接^{まっ}して建^たてられた住宅^{じゅうたく}

(4) 穂北

西都市の西都原台地の国道219号線を東に進むと、肥沃な水田地帯が広がります。江戸時代に天領（幕府の直轄地）だった穂北は、杉安堰の完成により、一ツ瀬川から水を引いて灌漑を行い、穂北平倉地帯を作り上げました。1区画の大きい水田は、たっぷりと水を含み、秋の収穫期ともなると黄金のじゅうたんのよう美しい風景を作り出します。